

# 各常任委員会審査・調査報告

## 総務常任委員会

総務常任委員会に付託された主な議案と審査状況について報告します。

### 平成21年度土地造成事業特別会計補正予算

**問** 一連の販売価格の協議の経過と結果について

**答** 第2白鳥、田園町府ニュータウンについては、当初、値下げをして販売する考えでしたが、地元住民の方々の話し合いの結果、値下げするのは困難であると判断し、従来の販売価格としました。

### 平成22年度白河市小田川財産区特別会計予算

**問** 財産区の基金の使途について

**答** 市有バスの購入、環境整備事業としての道路、側溝の補修、学校の修繕・備品購入、行政センター建築など有効に活用されています。

### 平成22年度土地造成事業特別会計予算

**問** ニュータウンの販売について、毎年数区画販売する見込みで予算化されていますが、

現実には売れていません。販売に当たっては、景気低迷、売り方などどこに問題があるのか原因を見きわめないと、毎年同じ結果になるのでは。

**答** さまざまな問題点を分析し、原因を見きわめ販売戦略を立てていきます。また、平成22年度は、地元建設業者を利用した場合の住宅建築に対する補助やその他の割引制度を計画しており、これらを効果的にPRし、販売促進を図っていきます。

### 平成21年度一般会計補正予算

**問** 財産管理費の用地購入地はどこですか。

**答** 現在、更地となっている旧南部中学校跡地の入口部分であり、地元の方から無償で借りていた経緯があったため、土地開発基金により購入していたものを、今回、買い戻すものです。

### 循環バスの委託方式を取りやめた理由について

**答** 当初、現行の運行欠損補助方式から委託方式に変更し

ようと計画をしましたが、公共交通連携計画の見直しの中で、受け手の事業者の問題など所要の見直しが必要と判断し取りやめました。

**問** 福島県市町村生活交通対策事業で、対象から除外された路線があるとの説明がありました。運行への影響は。

**答** 補助金が減少し市の負担は増加するが、運行に影響はありません。



図書館建設事業

### 図書館建設事業の継続費補正について

**答** 平成21年度において、建築工事、電気設備工事、暖冷房衛生設備工事の契約をしたため、その請負差額等につい

て年割額を減額し、平成22年度予定の外構工事等について、継続費総額の範囲内で年割額を増額するものです。

### 平成22年度一般会計予算

**問** 市のマイクロバス運転の委託先は。

**答** 平成22年度においても、シルバー人材センターに委託を考えています。

**問** マイクロバス利用者から運転に不安を感じるという声があります。利用者の声を聞きチェックする仕組みをつくっては。

**答** 委託者に対し、安全運転励行の指導を行っています。なお徹底します。また、利用者の声の把握等については、今後検討します。

**問** ふるさと大使の委嘱状況について

**答** 要綱では10人以内となっております。現在6人に委嘱しています。多種多様な部門から選任したいと考えているため、今後は、委嘱していない部門を中心に選任します。

### 市民歌の合唱指導委託料について

**答** 合併記念イベントの際に、市内のコーラスグループや公

募により、市民合唱団の編成を考えている。その指導を、市民歌を作曲した先生に依頼するものです。

### 国際交流協会の中学生派遣の目的と派遣先について

**答** 中学生という多感な時期に海外を訪問し、さまざまな文化に接することで人間形成に役立てることが目的であり、コンピューター市と姉妹都市を結んだことがきっかけとなり派遣が継続されています。「派遣に参加できる一部の生徒だけではなく、多くの中学生に良い結果を及ぼすような国際交流のあり方を検討してほしい」との要望がありました。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。



委員会審査風景

# 市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## 平成21年度国民健康保険特別会計補正予算

142万9000円の減額補正であり、補正の理由は予備費を減額し、一般被保険者療養給付費、後期高齢者支援金、介護給付費納付金などを財源補正するものです。

## 平成21年度老人保健特別会計補正予算

一般会計繰入金について 国、県負担金の交付時期がずれるため、不足分を一時的に一般会計から繰り入れ、立かえるものです。立かえ分は平成22年度歳入予算の過年度分として精算されます。

## 平成21年度後期高齢者医療特別会計補正予算

118万7000円の増額補正であり、一般管理費や後期高齢者医療広域連合納付金の増額によるものです。

## 平成21年度地方卸売市場特別会計補正予算

卸売市場管理運営費75万円の減額補正となります。

## ◆白河市交通遺児激励金支給条例の一部を改正する条例

**問** 愛の基金との関連性及び実績について

**答** 一人の支給年額は、2万5000円で、制度の一本化を図りました。受給者は小学生合わせて6人です。

## ◆白河市国民健康保険条例の一部を改正する条例

小学校6年生までの入院・外来医療費の助成制度の実施に伴い、当該療養の給付に関し一部負担金を平成22年7月1日から無料とします。

## ◆白河市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

表郷村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## ◆大信村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

## ◆東村国民健康保険税条例の一部を改正する条例

**問** 被扶養者であった者の保険料の軽減とその財源について

**答** 所得割・資産割は免除、7割・5割軽減世帯以外は均等割・平等割が最大5割の軽減となります。また、財源は保険基盤安定として国から補てんされます。

## 平成22年度国民健康保険特別会計予算

63億7862万5000円の予算で、前年度当初予算と比較し、1億6969万1000円の増額となり、2・7パーセントの増です。

**問** 制度改正が予定されている応能・応益割合と7割・5割・2割軽減について

**答** 現行では、応能・応益割合によつては、7割・5割・2割の軽減がとれず、6割・4割軽減となつてしまっています。今回の改正により応能・応益割合にかかわらず、7割・5割・2割軽減を可能とするものです。

## 平成22年度老人保健特別会計予算

206万7000円の予算で、前年度当初予算と比較し、1382万9000円の減額となり、87パーセントの減です。

## 平成22年度後期高齢者医療特別会計予算

4億8641万6000円の予算で、前年度当初予算と比較し、37万5000円の増額となり、0・1パーセントの増です。

**問** 平成21年度の普通徴収に係る徴収率、未納者及び未納額について

**答** 徴収率は98パーセントを見込んでいます。未納者及び未納額は、1月末現在の数字なので、2月の最終納期の納期未到来分を含み、152人で、2770万9200円です。

## 平成22年度地方卸売市場特別会計予算

2732万円の予算で、前年度当初予算と比較し、273万1000円の増額となり、11・1パーセントの増です。

## ●市民部関係

**問** 不法投棄廃棄物監視・撤去委託料について

**答** 白河建設工業協同組合に委託し、市内一円の監視・撤去を実施しています。沢地など人目につきにくいところにタイヤ類や家電の投棄が多く、月約7トンが処理されています。

## ●産業部関係

**問** 耕せふくしま遊休農地再生事業補助金の減額について

**答** 補助率のよい国の補助金を活用し約4ヘクタールを実施しました。

## 平成22年度一般会計予算

## ●市民部関係

**問** 本庁における無料法律相談は月1回の開催増となるが、

実績はどうか。

**答** 平成21年3月から1年間の相談件数は299件で、主な内容は相続などの家族関係が102件、債権債務・損害賠償関係が78件、不動産関係が22件です。

## ●産業部関係

**問** しらかわ型自給率アップ事業補助金について

**答** 平成21年度と比較し、転作の補助金の減額となる品目に対し、市が補てんするもので、生産調整達成者のみの支給となります。

**問** 財団法人白河観光物産協会について

**答** 4月1日、財団法人白河市都市整備公社を母体とする新組織に改変することで、寄付行為、名称、事業内容、役員構成等を県と協議しています。事業費は市から観光PR業務委託料とふるさと雇用による観光振興推進業務委託料及び人件費を含む補助金で2649万4000円、このほか、会費収入で約300万円を見込んでいます。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

# 教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市こども医療費の助成に関する条例

小学6年生までのこどもの医療費に係る自己負担分を助成するものです。

## ◆白河市重度心身障害者医療費の給付に関する条例の一部を改正する条例

身体障害者手帳の交付対象に新たに肝臓機能障害が追加されることに伴う所要の改正です。

## ◆白河市文化センター及び白河市東文化センターの指定管理者の指定について

カルチャーネットワークを指定管理者に指定した経過について

審査会で、カルチャーネットワークの自主活動の展開が地域の厚い信頼を得ていると評価され、引き続き指定管理者として指定するに至りました。

## 平成21年度介護保険特別会計補正予算

基金繰入金の減額要因について

平成21年度の保険給付費

の組み替えによる負担割合の変更から、基金繰入金を減額しています。

## 平成22年度介護保険特別会計予算

保険給付費の見直しについて

保険給付費は、第4期介護保険事業計画の第2年次の給付費を基本として計上しています。整備されるグループホームなどの利用を含め、平成21年度の実績を勘案し、全体的に調整します。

## 平成21年度教育財産特別会計補正予算 平成22年度教育財産特別会計予算



現地調査

審査に際し、白坂及び小田川地区の現地調査を行いました。

## 平成21年度一般会計補正予算

### ●保健福祉部

高齢者総合相談窓口相談員設置業務について

ふるさと雇用再生特別事業で当初予算に計上したが、事業採択とならなかったため減額補正する。なお、高齢者の相談業務は、地域包括支援センターが全域を担当しており、昨年は補正予算により事務補助員1名を雇用し、専門職による相談業務を支援しています。

### ●教育委員会

乳幼児医療助成事業で過年度県支出金返納金が生じた理由について

国保分における無料化による波及分が、補助対象外であったことから返還するものです。

## 平成22年度一般会計予算

### ●保健福祉部

各旧法障がい者施設について

平成23年度までに自立支援法で定める新体系事業への

移行が求められており、一般的には入所支援施設と日中活動系施設の2施設をあわせ持つ施設へ移行の予定です。

白河厚生総合病院医療体制助成金について

支援内容は周産期、救急及び感染症医療について、厚生病院が担う比重が大きいことから、それらの充実に目的としています。助成金額については要請を受け、厚生病院運営委員会の構成市町村の白河市、西白河郡4町村及び那須町で協議し、全体で総額3億円となりました。なお、市町村の負担割合は、病院の利人員割りで算定されています。

### ●教育委員会

民間保育所施設整備費補助金について

本市における待機児童の解消を考え、平成20年度から3カ年にわたり福島県安心こども基金を活用し、市内2カ所の認定こども園の整備を計画しており、現在、協議を行っています。補助基本額はその定員により異なり、補助率は国が3分の2、市が12分の1です。

釜子小、白河中央中及び表郷幼稚園の検討委員会や今後の計画に対する考え方等について

基本的には改築を意識した上での委員会で、この中でさまざまな課題を総合的に考えていきます。今回、予算計上の釜子小、中央中及び表郷幼稚園を先行して検討します。改築に当たっては、学区内の児童生徒数の変化をシミュレーションした上で実施します。現段階では、市全体の学校配置については、進んでいません。

学校基礎学力向上推進事業について

来年度、信夫二小で2・3年が変則複式学級、5・6年が複式学級となる予定で、複式学級解消のため、県配置の非常勤講師のほかに、市の非常勤講師を雇用します。児童が落ち着いた環境で学校生活を送れるようにするためのものです。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

# 建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

## ◆白河市浄化槽の整備に関する条例の一部を改正する条例

**問** 浄化槽の設置数について  
**答** 平成22年度予算では、55基を予定しています。予定数以上の申請があった場合は、国・県と協議したいと考えています。

## 平成21年度簡易水道事業特別会計補正予算

**問** 歳入の水道使用料に  
関し、現年度の水道料金が減額になることについて  
**答** 景気低迷の影響で、大口使用者の使用水量が落ち込んでいます。特に製造業やホテル業関連での減少が見受けられます。

## 平成22年度公共下水道事業特別会計予算

**問** 都市環境センター管理費の汚泥の処理費用及び処理方法について  
**答** 汚泥は1トン当たり2万1340円で高熱処理されます。平成22年度は、約3824トン排出される見込みで、

栃木県佐野市のセメント会社

に運び、セメントの材料に使用されます。

## 平成22年度農業集落排水事業特別会計予算

**問** 農業集落排水事業の汚水処理の考え方について  
**答** 県で下水道構想の見直しをしているところであり、市

としても、農業集落排水事業の計画区域の中から、効率性を考慮して、浄化槽整備推進事業への見直しを検討しています。

## 平成22年度個別排水処理事業特別会計予算

**問** 浄化槽の管理方法について  
**答** 法定検査は年1回、保守点検は年4回、汚泥の汲み取りは年1回以上行い、水質検査の結果は良好です。

## 平成22年度簡易水道事業特別会計予算

**問** 歳入の水道使用料に  
関し、水道料金の今後の見直しについて  
**答** 景気低迷の影響で減額となっていました大口使用者の水道料金は上向きになっており、減少傾向は落ち着いてきたものと思われれます。

## 平成22年度水道事業会計予算

**問** 水質検査の内容について  
**答** 水質検査は、一般細菌や大腸菌などの検査を行う水質基準項目が50項目、残留塩素などの検査を行う水質管理目標設定項目が28項目あります。

**問** 水質検査は主に、白河地方水道用水供給企業団に委託し、それぞれ水道法で定められた回数

の検査を実施しています。  
**平成21年度一般会計補正予算**  
**問** 土木雑入の全国市有物件保険災害共済金の内容について  
**答** 翠楽苑のそばに落雷があり、地中を走ってポンプ室内制御盤が損傷を受けたことに対する保険金です。

**問** 河川管理費の水門門扉管理に  
関し、その設置箇所について  
**答** 県の管理する阿武隈川や社川など市内38カ所に設置されています。

**平成22年度一般会計予算**  
**問** 建築総務費の街なみ環境整備事業の対象地区の位置及び事業内容について  
**答** 対象地区は本町北裏地区

で、細い路地のため建築基準法に基づく建てかえができません。そこで、地域とともに今後のまちづくりについて、調査研究するための協議会に対して助成を行います。  
**問** 道路維持費の除雪費の計上及び実績について  
**答** 除雪に係る経費は例年予算費で対応していましたが、平成22年度から除雪費として当初から予算計上しました。平成22年1月と2月の除雪経費は約1600万円でした。  
**問** 除雪を行うに当たり建設業者との協力体制について  
**答** 毎年除雪会議を開催し、建設業者と単価契約を結んで協力体制を確立しています。今後も連携を図りながら進めていきたいと考えています。  
**問** 城山公園管理費の駐車場管理に  
関し、目的外駐車場の現状について  
**答** 昨年10月から緊急雇用創出事業を活用し管理委託したところ、かなり改善されたことから、平成22年度も引き続き委託したいと考えています。

▼付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

## ◆現地調査◆

付託議案の審査後、「一般国道4号拡幅工事現場」と「八竜神形見坂線道路整備現場」の現地調査をしました。それぞれ、担当者から工事の概要、経過等について説明を受け、工事の進捗状況を確認しました。



国道4号拡幅工事現場



八竜神形見坂線道路整備現場